

卯木山妙蓮寺はうもくさんめうれんじは寺内通小川の西にあり、右同宗にして開基は日像上人にちざうなり。古は西洞院五条にあり。柳屋仲興やなぎやなかおきとい

ふもの日像にちざうを帰依して宅地を寄附し柳寺やなぎでらと称す、其後大宮通四条の南にうつし、又元誓願寺もとせいぐわんじ通大宮に遷、天正廿四年に

此地に移す。当寺の什宝に、祈雨の本尊として日蓮上人の自筆法華の曼荼羅あり。後光厳院ごくわうごんゐんの御宇に天下大に旱す、此本

尊を以て桂川かつらがわのほとりに至り諸雨の法を修せしむ、勿靈応ありて大雨数日に及ぶ、故に日蓮上人に大菩薩の号を賜る。